

保育者ワークショップ

アンサンブルから学ぼう！

幼児教育学科 准教授 河野 久寿

～講座要項掲載内容～

テーマ：アンサンブルから学ぼう！

アンサンブルとは2人以上で演奏する事を意味します。アンサンブルを体験し、その意義を考察します。また、様々な楽器が楽器毎にある程度の役割があります。金管・木管、打楽器、キーボード等、楽器を用意しますので演奏してみましょう。得意な楽器がありましたら是非お持ち下さい。歌が得意な方の参加もお待ちしています。最終的には、グループまたは全員でのアンサンブルを予定しています。

～開催期日・場所～

平成28年11月13日（土）13:30～15:00
仁愛女子短期大学E401(演奏ホール)

～実施報告～

1. 参加者、楽曲について

参加者は2名と少数であった。2名とも前年度卒業の選択履修プログラム音楽を選択した保育士で、終始和やかな雰囲気の中進められた。



参加者1名は歌、もう1名はフルートであったため、河野（シンセサイザー）、本学准教授木下由香（ピアノ）、計4名でのアンサンブルを行った。

時期的な事を考慮し、演奏難易度も低い「きよしこの夜」、またそれよりも少し長くアンサンブルの難易度も高い、昨今広く知られた楽曲「花は咲く」の2曲を、歌、フルート、シンセサイザー、ピアノ編成にてスコアを用意した。

また、演奏したものを録音し、演奏後全員で聴き、修正点を確認しながら、その場での最良のアンサンブルを目指した。

2. アンサンブル実施内容

最初にウォーミングアップも兼ねた「きよしこの夜」を演奏した。フルートの学生は、保育職に就きながら一般の吹奏楽団体にも所属している実力の持ち主で、歌の学生も、伸びやかな聞き心地の良い声質の学生であり、その場で楽譜を見ながらの初見演奏でも問題なく演奏できた。

次に2曲目の「花が咲く」を演奏した。この曲に関しては、歌担当の学生があまり知らない



様であったが、まずは歌メロディーの音を取り、おおよそ歌えるようになった段階でアンサンブルを行った。

何度か演奏・録音の確認を繰り返し、徐々に楽曲に慣れ、最終回の演奏では、「花が咲く」が持つ楽曲としての想いをしっかりと表現するものになった。

～おわりに～

今回の参加者は2名と少なく開催も迷うところであったが、限られた時間内で、アンサンブルが持つ同じ時間軸の中で息を合わせる、また音楽の表現方法としての楽しさを経験するよい機会になったのではと考える。また、卒業生が元気な姿を見せ、終了後も歓談する事ができた事も大変有意義であった。

平成28年度保育者ワークショップ 「アンサンブルから学ぼう！」 アンケート結果

1. 職業について

- ・ 保育士(勤務10年未満) …………… 2人

2. 本日の講座への参加理由について

- ・ 講座内容に興味を持ったから…………… 1人
- ・ 本学からの案内…………… 1人

3. 本日の講座内容について

● 満足度

- ・ 満足… 2人

● 感想

- ・ 久しぶりの短大で、好きな音楽をたっぷりさせて頂いて、すごく充実した時間でした。子どもたちの前でも演奏したいと思います。
- ・ 楽しく参加できた。

